

製品名: アルカディアウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07140**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	110kDa

抗原情報

遺伝子名	RNF111
別名	RNF111; E3 ubiquitin-protein ligase Arkadia; RING finger protein 111
遺伝子 ID	54778.0
SwissProt ID	Q6ZNA4
免疫原	抗血清はヒト RNF111 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 901-950

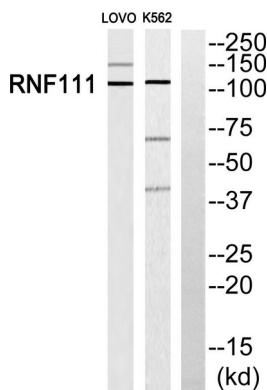
背景

リングフィンガータンパク質 111 (RNF111) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、核内RINGドメイン含有E3ユビキチンリガーゼである。このタンパク質は、SMADタンパク質などの負の調節因子のユビキチン化およびプロテオソーム分

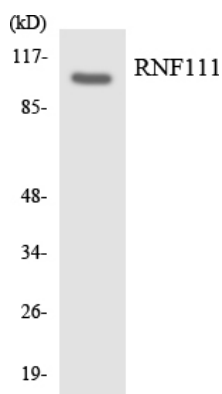
解を促進することで、トランスフォーミング成長因子 (TGF) β /NODAL シグナル伝達経路と相互作用し、それによって TGF- β 標的遺伝子の転写を増強する。nodal シグナル伝達カスケードの調節因子として、この遺伝子は胚発生中の中胚葉誘導において重要な役割を果たしている。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2012 年 7 月]、機能: 胚発生中の中胚葉パターン形成における NODAL 経路に作用する。AXIN1 の下流で E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼとして作用し、SMAD7 などの阻害性 SMAD のユビキチン化を促進し、プロテアソーム分解を誘導することで、TGF- β および BMP の転写活性を増強する。シグナル誘導性 SnoN 分解を誘導することにより、Smad3/Smad4 依存性転写を活性化する。経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。類似性: RING 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。細胞内局在: TGF- β 処理により、核から細胞質へ移行する。サブユニット: SMAD6、SMAD7、AXIN1、AXIN2、および SKIL アイソフォーム SNON と相互作用する。RNF111、AXIN1、および SMAD7 を含む複合体の一部である。組織特異性: 広範囲に発現する。、

研究分野

画像データ



RNF111 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンには RNF111 ペプチドでブロッキングされている。



RNF111 抗体を使用した Jurkat 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。